

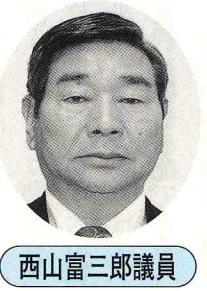
問 子どもの成長を促すことは、すなわち脳を育てる仕事といつても間違いない。脳の成長するプロセスからみて3歳までの環境づくりが特に大切であり、遅くとも8歳ころまでにその後の人生を豊かに過ごすための基礎を作ることが望ましいと考えられている。

- (1) 幼児教育振興計画のねらい・内容・計画。
- (2) 共同保育は。
- (3) 道徳性の芽生えを培う取り組みは。
- (4) 共育者(共に育つ者)として保育士・保護者・地域の連携は。
- (5) 保育所は大学と同じくらい大事なところと思うが。

答

(山田教育長)

- (1) 先般専門家・町内関係者13名で構成する「幼児教育振興計画策定委員会」
- (2) 大山西郷踊り伝承会
- (3) 住民が同じ視点で子どもたちの成長に取り組むことは大切であり工夫を重ねている。
- (4) 本町では全保育所で対応できる。本年度は、御来屋・大山・下中山・光徳の4保育所で行っている。
- (5) 県・西部地区の保育協議会や県教委主催の研修会をはじめ全国保育研究集会などに参加をし研修をはかっている。



西山富三郎議員

13名の委員で9月中に示す

幼児教育のねらい・内容・計画は

問 子どもの成長を促すことは、すなわち脳を育てる仕事といつても間違いない。脳の成長するプロセスからみて3歳までの環境づくりが特に大切であり、遅くとも8歳ころまでにその後の人生を豊かに過ごすための基礎を作ることが望ましいと考えられている。

- (1) 健常児と障害児が同じ仲間として共同保育していくことは大切である。
- (2) どの子どもたちも豊かに伸びていく可能性を持っていると信じている。
- (3) 基本的な生活習慣や他人に対する思いやり、社会的マナーなどの能力を培うためのあらゆる場面で取り組んでいる。
- (4) また児童クラブなどの場面でも道徳性の芽生えとその育成に配慮している。

を設置した。第1回委員会を6月中に開催し、9月中旬に結論を出した。

たちの成長に取り組むことは大切であり工夫を重ねている。

隠岐の西郷町はどういき取りを行ったところ、現在も盆踊りは盛んであるが隠岐自身は西郷踊りと呼んでいないと言っている。

「さいご踊り」「さいごう踊り」「西郷踊り」一定でないと思う。

（2）町内には現在、所子盆踊り保存会・大山町盆踊り保存会・いさい踊り保存会などいくつかある。

（3）口説き歌は5・6曲ぐらいかと思う。

祭第3回鳥取県民踊まりに出演し、踊り・口説き共に好評を博した。町誌・民俗分野に盆踊りが記載されると思う。

日、鳥取県総合芸術文化祭第3回鳥取県民踊まりに出演し、「西郷踊り」と書くこと持つていいなど意味を持っているなど

りが記載されると思う。町誌・民俗分野に盆踊りが記載されると思う。

（4）昭和50年代ごろに録音している

（5）口説き歌は5・6曲ぐらいかと思う。

（6）町教委は収録した資料は持っていない。県教委文化課が昭和50年代ごろに録音している

（7）町誌記載だけではなく資料収集、記録保存に取り組み、伝承しながら文化の還元をしていきたい。

（8）（9）（10）

盆踊りは大切な郷土芸能

スポットをあて伝承する

問

大山西郷踊り伝承会

（旧名和町）

盆踊りは大切な郷土芸能

スポットをあて伝承する

答

(山田教育長)

(1) 名和町誌にはどちらも記載されていない。

大山町誌では「さいご

踊り」「サイゴ踊り」と記載されている。



子どもと一緒に盆踊り

- (1) 先般専門家・町内関係者13名で構成する「幼児教育振興計画策定委員会」
- (2) 大山西郷踊り伝承会
- (3) 住民が同じ視点で子どもたちの成長に取り組むことは大切であり工夫を重ねている。
- (4) 本町では全保育所で対応できる。本年度は、御来屋・大山・下中山・光徳の4保育所で行っている。
- (5) 県・西部地区の保育協議会や県教委主催の研修会をはじめ全国保育研究集会などに参加をし研修をはかっている。

- (1) 名和町誌にはどちらも記載されていない。
- (2) 大山町誌では「さいご踊り」「サイゴ踊り」と記載されている。